



FAR EAST SHIPPING & TRADING CO.,LTD.

極東海運実業株式会社

マーケットレポート 2002 Vol.5

Monthly Market Report 2002 Vol.5

暑中お見舞い申し上げます。

市況も梅雨時か？ 余りパツとしません。昨今何やら沈殿してる様相を呈しております。バルカーは 今年始め ケイブがかなり改善しパナマックス以下に好影響をもたらしてきましたが春頃から軟弱となり伸びに欠ける現状です。ハンデーサイズはやや違う動きをしているが このカテゴリーでは 22/23型は需要が弱くなり 30型前後がより求められた感があります。何れにしても市況は盛り上がり欠けている現状です。近海は依然低迷横滑りで やや恒常化しているのではないかと心配です。近海は特殊制限海域でアジア地区の経済好転を待つか、中国の台頭に期待したい。

タンカーは一時の盛り上がりは無くやや低下していると観ます。代替需要は既に整備が終わっており 新規需要は停滞しているのではないのでしょうか？ケミカルは20型 近辺のサイズで需要が伸びましたが これ以上新規建造は 船腹過剰をきたします。

上記市況を反映してか新規新造船発注も低迷しておる筈です。大手は大型船で潤沢に受注残もっておりましょうが、中手以下の造船所は受注ペースは落ちている筈です。中国造船所等の台頭もあり 船価プレッシャーが始まりやや後戻りとなりましょう。為替も不透明です。海外では市況底打ち感ありとして 彼らが新造船を発注するのでは無く 日本の船主に為替リスクとらせて長期傭船する仕組みで需要を喚起する向きもありますが これは何ら新しい手法ではありませんが今後は傭船者背景等より注意することが肝要でしょう。特に大手商社が介入していても 先の海外傭船者も含めていろいろ リストラもあり 期間リスクが以前に増して大きくなる傾向を観ます。やっしまえばそれまでですが 契約上の事故に対する対応力を持つておく事が肝要なのです。

中古船取引は今年前半は市況底打ち感があつてか 特にギリシャ筋が活発に動いて多くの成約を観ました。6月後半よりギリシャ筋もやや控えめになったのを感じております。この時期円高傾向になったため日本側も悪乗り出来ない背景もありましょう。近海船は 5-10歳を対象に買船引き合いが増えておりますが 船価的に縁結びが難しい現状です。売り手側の懐事情が許容されれば成約している現状です。又BB HP 形態での引き合いも散見されます。資金的に余裕は無いが市況に就いては将来改善すると確信もっているのでしょうか？

梅雨が明ければ 欧米は夏休みです。日本も最近長期夏季休暇をとる傾向にあります。矢張り 人がおって動かなければ 市況は停滞するものです。過去実績でも 8月に市況が沸騰したことはありません。じたばたせずに 猛虎の復活を待つ事にします。

